

# 体育・保健体育授業の改善・充実に向けた取組

## 児童生徒に単元や1単位時間における学習の見通しをもたせるための工夫

**目指す姿**

作戦を生かして  
ねらったところへ  
ボールを打とう  
～エースをねええ！ ハンドテニス

目指す姿に向けて・・・

- ①うまく打つためのコツを見つけよう！
- ②飛んできたボールをうまく打ち返すためのコツを見つけよう！
- ③全員が楽しむことができるようにルールを工夫しよう！
- ④どこをねらって打つと点数が取りやすいか考えよう！
- ⑤どこで守るとボールを打ち返しやすいか考えよう！

↑【スライドやホワイトボード等を活用し、↑目指す姿や学習の流れを児童生徒と共有】

「つないでアタック！ソフトバレーボール」

単元のゴール

- ①キャッチ（レシーブ）～キャッチ（トス）～アタックの連打で得点できるようになる。
- ②チームの課題に合った練習を選び、課題解決に向け協力できるようになる！
- ③自分で合った作戦を運べるようになる！
- ④全員が気持ちよく（終われるよう、雰囲気大切にできるように）なる！

↑【専門家や同年代の見本動画の視聴により、単元のゴールの姿を共有】↓

	1	2～7	8～12	13～16
ねらい	<オリエンテーション> 学習の見通しをもつ	<ねらい1> 今の力でゲームの楽しさを味わう 「ゲームを通してチームの課題をつかむ」	<ねらい2> 高まった力でゲームの楽しさを味わう 「チームの特徴を生かした作戦でゲームを楽しむ」	FINALリーグ戦
時間の流れ	○学習の進め方 ○学習の進捗 ○単元の目標 ○チーム編成 ○ルール ○ドリル練習 <試しのゲーム>	ウォーミングアップ 整列・あいさつ  <ファーストリーグ> 5チームリーグ戦 前半2分・後半3分 3対3 or 4対4	ウォーミングアップ 整列・あいさつ 作戦会議  <セカンドリーグ> 5チームリーグ戦 前半2分・後半3分 3対3 or 4対4	ウォーミングアップ 整列・あいさつ  <ファーストリーグ> 7チームリーグ戦 前半2分・後半3分 3対3 or 4対4

↑【単元の指導計画を活用した学習内容や評価規準等の児童生徒との共有】↓

	1時間目(本時)	2時間目	3時間目	4時間目	5時間目	6時間目
知識・技能		ア、イ	ウ			7、イ、ウ
思考・判断				ア	イ	イ
表現・交流	イ、カ			オ		
方法	観察、発音、ロイロ	観察、ロイロ	作戦、ロイロ	作戦、ロイロ	観察、ロイロ	観察、ロイロ
めあて	みんなが安全に楽しめるゲームにする	ボールのコントロールを上手にする	中ら初めは確率に勝つ。そこからゲームをする	全員に活躍のチャンスがあるゲームにする	チームで作戦を立て、それをゲームで試す	学習したことを生かしてゲームを楽しむ
学習活動	ウォーミングアップ ゲーム① ゲーム② まとめ	ドリブルゲーム シュートゲーム アクトンバレーゲーム	ドリブルゲーム アクトンバレーゲーム ハーフコート3×3	アクトンバレーゲーム ハーフコート3×3 オールドコートゲーム	ハーフコート3×3	交流ゲーム大会 (5チームで交流ゲーム)

### ポイント

- ・単元の指導計画やワークシートなどを用いて、単元で育成を目指す資質・能力や1単位時間の目標(ねらい・めあて)を児童生徒と共有することにより、児童生徒の授業の目標等を意識した主体的な活動の実現に努めましょう！
- ・ICT等を効果的に活用し、児童生徒に分かりやすく目標や学習の流れを示しましょう！

## 自己課題の解決や運動量の確保に向けた教材・教具や場の設定、準備運動の内容の工夫



↑【技能の定着や体力・運動能力の向上につなげる教材・教具の工夫】



ラケットの中心  
(手の平のところ)  
でボールを打つ



↑【準備運動において、本時の主運動につながる多様な運動に取り組むことができる場の設定】



↑【教材の活用】



↑【教材の活用】



↑【教材の活用】

→「教員が提示した複数の運動から、自己の課題に応じた運動を選択し、課題の解決に向けて実践」←

◎課題克服の練習を選択し、UPを自主的にしよう！

- キャッチボール（アタックを打つ能力：右左）
- バウンドキャッチ（ボールの下に移動する能力）
- 複数人でのオーバー、アンダーパス（技能とコミュニケーション能力）
- 壁を利用してのオーバー、アンダーパス（個の能力）

※自分や仲間と選択して、主体的に実践しよう。

### ポイント

- ・準備運動においては、児童生徒にとって、自己の運動課題の解決に向けた継続的な解決の場面となるよう、既習の複数の運動から選択して取り組むことができるようにするなどの工夫をしましょう！
- ・児童生徒が、自己の課題解決に向けた学習を調整することができるよう、教材・教具や場の設定を工夫することを大切にしましょう！



